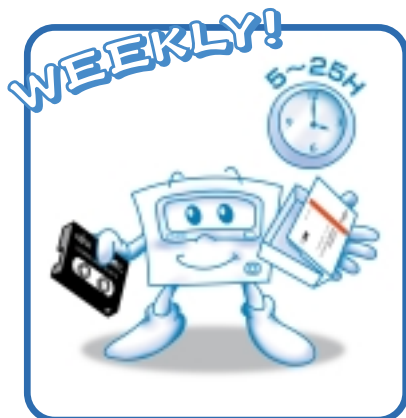


DATユニットを正しくご使用いただくために

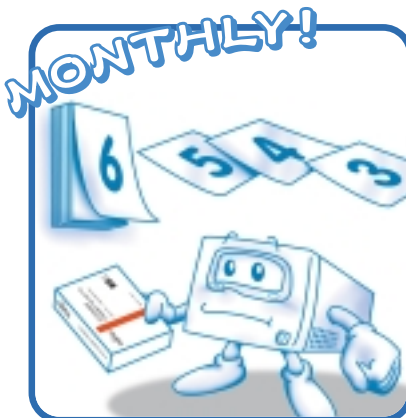
このたびはDATユニットをお買いあげいただき、誠にありがとうございます。本書は、DATユニットを正しくご使用いただくための注意事項を説明しています。本書をよくお読みいただき、正しくご使用いただきますよう、お願いいたします。

清掃は定期的

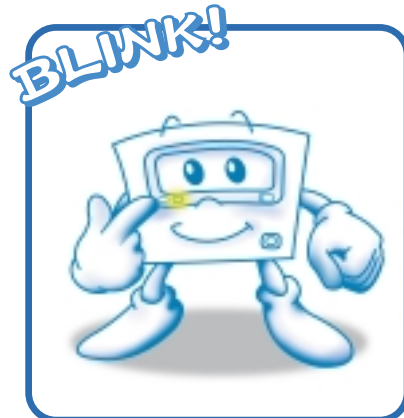
DATユニットは、クリーニングカセットを使用し、定期的に清掃してください。長期間DATユニットを清掃しないと、磁気ヘッドがほこりやゴミで汚れてきます。これにより、データの読み書きが正常に行われず、データカセットの寿命が短くなる、テープ表面にキズが付き使用できなくなる、汚れがこびりつき装置が故障する、などが起こります。そのため、データが正常にバックアップ処理されません。



DATユニット5～25時間の使用に対して1回、または1週間に1回の割合で、清掃してください。



DATユニットを使用しない場合も、1か月に1回清掃してください。



DATユニットの「Cleanランプ」が点滅したときは、その都度清掃してください。



新しいデータカセットに交換する前に、清掃してください。

クリーニングカセット

DATユニットの清掃には、以下のクリーニングカセットを使用してください。クリーニングカセットは、「富士通コワーコ株式会社」でお買い求めください。

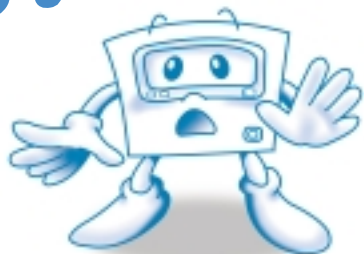
品名	クリーニングカセット DAT-N	商品番号	0121170
----	------------------	------	---------

このクリーニングカセットは、使い切りタイプです。使用可能回数は、約50回となっております。また、カセット内のテープが全て右側に巻き取られている場合、あるいはクリーニングカセットをセットしてから約1分経過しても排出されてしまう場合は、使い終わっています。新しいクリーニングカセットをお買い求めのうえ、清掃し直してください。

注) 使用可能回数は、PG-DT402/DT402D をご使用の場合は約25回、PG-DT502/DT502D をご使用の場合は約30回となります。

取り扱い上の注意

STOP!



このような扱いはしないでください

カセットを入れたままにしない

バックアップが完了したときは、速やかに取り出してください。カセットを入れたままにすると、ほこりがたまるなどしてDATユニットが故障したり、カセットの寿命が短くなったりすることがあります。

分解または解体

お客さまが分解または解体をした場合、動作保証いたしかねます。

データカセットを入れたままでの移動

移動する場合は、必ずデータカセットを取り出してください。衝撃が加わった時、装置やカセットをいためる場合があります。

水がかかった状態、異物(カセット以外のもの)が入った状態での使用

水がかかたり異物が入ってしまった場合は、販売店または担当保守員にご連絡ください。

揮発性溶剤(ベンジンやシンナーなど)の使用

前面の汚れは、柔らかい布でから拭きするか、布に少量の水または中性洗剤を含ませて、軽く拭いてください。

DO!



このように正しく扱ってください

電源を切るときは、カセットを必ず取り出す

カセットを入れたまま電源を入れると、カセットの寿命が短くなったりバックアップに失敗したりします。

室温の変化が激しい場所に移動するときは、カセットを抜く

DATユニットを移動したときは、1時間以上待ってから使用してください。また、結露には充分ご注意ください。

定期的に磁気ヘッドを必ず清掃

磁気ヘッドの清掃については、表面の「清掃は定期的に」をお読みください。

傷んだデータカセットは交換

清掃してもすぐに「Cleanランプ」が点滅する場合には、データカセットが傷んでいる可能性があります。新しいデータカセットに交換して下さい。

世代管理でより信頼性の高いバックアップを!

不慮の事故や媒体寿命により、バックアップデータが失われる恐れがあります。複数のデータカセットをローテーションして運用する事で少なくとも前回のバックアップデータが保存されるため、より信頼性の高いバックアップが可能となり、安心してDATユニットを使用できます。

PLACE!



このような場所では使用/保管しないでください

直射日光の当たる場所

発熱器具のそば

衝撃、振動の加わる場所

湿気、ほこりの多い場所

室内の温度が極端に高温または低温の場所

温度変化が激しい場所